

原著論文

岡崎由夫：下部洪積統，釧路層群の花粉分析とそれによって示される気候変遷と時代……………	1
中川久夫：北海道恵山火山付近の段丘……………	9
堀江正治：日本の氷期と欧米の氷期との対比(1)……………	15
藤井昭二・坂本清次：富山県射水平野の第四紀の地下地質……………	23
中川久夫・相馬寛吉・石田琢二・竹内（小川）貞子：仙台付近の第四系および地形(2)……………	30
向坂鋼二：長野県中ノ沢出土の土器と土製耳飾……………	40
山形 理・今野勝之：山形県赤倉地方の洪積世花粉について（英文）……………	56
紹介 大塚教授記念論文集……………	58
学会記事……………	58

第2—3号 昭和37年3月

原著論文

中川久夫：日本の Würm 氷期……………	61
羽鳥謙三・井口正男・貝塚爽平・成瀬 洋・杉村 新・戸谷 洋：東京湾周辺における第四紀末期の諸問題……………	69
小林国夫：日本の Würm 氷期における Accumulation Terracing の問題……………	91
杉原荘介：第四氷期と先土器時代の日本……………	100
若生達夫：侵蝕緩斜面の形成時期について……………	104
堀江正治：アメリカにおけるウイスコンシン氷期に関する最近の研究……………	113
堀越増興：日本周辺の浅海系海域における底棲生物の海洋生物地理——特に沿岸水海域と暖帯(warm temperate zone) について……………	117
報告 INQUA 第6回(Warszawa) 会議〔小林国夫〕……………	125
紹介 杉村新：放射性炭素による年代測定の精度向上について……………	133
学会記事……………	136

第4—5号 昭和37年8月

原著論文

上野益三：現世動物の分布から見た日本列島とアジア大陸との関係……………	139
鹿間時夫：化石哺乳類等よりみた日本列島と大陸との陸地接続……………	146
中川久夫：大陸接続期の海水準と陸橋の高さ——大陸接続に関する2・3の問題——……………	154
貝塚爽平：Würm 氷期における日本の植生分布とそれに関連する問題……………	159
松井 健・加藤芳朗：日本の赤色土壌の生成時期・生成環境にかんする二、三の考察……………	161
粉川昭平：Szafercowa グラフ法によるミツガシワ種子化石の計測値と年代との関係……………	180
竹原平一・木村一朗：伊勢湾西岸の段丘と第四系（予報）……………	188
石狩低地帯グループ：ウルム氷河期における北海道石狩平野美々化石林の古気候について……………	196
阪口 豊：岩内・瀬棚地方段丘堆積物の花粉分析……………	205
報告 国際地球内部開発と第四紀研究〔中野尊正〕……………	208
学会記事……………	210

第6号 昭和38年3月

原著論文

阪口 豊：日本の後氷期海面変動に対する疑問——縄文文化の絶対編年に寄せて——……………	211
杉村 新：柳ノ瀬断層……………	220
渡辺直径：日本先史時代に関するC <sup>14</sup> 年代資料……………	232
報告 第1回国際花粉学会議に出席して〔塚田松雄〕……………	241
テフロクロノロジー園内委員会記事……………	248
学会記事……………	249